

令和 6 年度 三 好 市 立 学 校 評 価 報 告 書

学校名(池田中学校)

作成日 令和7年3月21日

校長名(岡本 博一)

1 総括評価

評 価 分 野	自己評価 (平均値)	自 己 評 価 結 果 の 概 要	学 校 関 係 者 評 価 の 概 要	次 年 度 の 改 善 策
① 学校経営及び学校運営に関する評価	3.6	①生徒一人ひとりに寄り添った指導を目標に生徒指導・学習指導に取り組むことができた。	①子どもにとってだけでなく、保護者にとっても前向きになれる声かけが大切であり、ポジティブ行動支援の取り組みが伝わってきた。	①ポジティブ行動支援の実践を充実させるため、校内研修に継続して取り組み、教職員の意識を高めていく。
② 教育目標及び教育計画に関する評価	3.8	②全学年でジオパークに関連した学習を実施できた。	②継続して取り組んできたジオパーク学習をナンバーワンスクールなど、教育目標に位置づけたことがよかった。	②学校運営協議会での教育目標や課題の共有と地域学校協働活動の充実を図っていく。
③ 主要な教育活動に関する評価	3.4	③約8割の生徒は「授業がわかりやすい」と感じていたり、道徳の授業にも意欲的に取り組んでいる。	③全体的に生徒が落ち着いて、集中して授業に取り組んでいる。	③家庭での学習時間確保のため、SNSやネットの利用について、生徒だけでなく保護者もいっしょに考える機会を設け、睡眠時間の確保など生活習慣の改善を呼びかける。
④ 保護者や地域との連携に関する評価	3.4	④イベントを通じて小中高の連携が図れたことや、学びサポーター配置事業や学校支援活動により、補充学習や授業支援が充実し、豊かな学びを実現できた。	④「保護者や地域の意見が教育活動に反映されている」と感じる保護者が66%であり34%はそう感じていないのは課題。	④ホームページやマチコミを活用した情報発信に継続して取り組む。
⑤ その他、上記以外に関する評価()	3.5	⑤毎週水曜日の「ノー部活デー」の実施や弓道部の部活動指導員の配置は働き方改革としての効果が大きい。	⑤部活動の地域移行については、都市部とは状況も違っており今後の課題。	⑤部活動の地域移行について、市教委と方向性等を検討していく必要がある。

(1) 4段階評価とする。

評価基準 4＝達成度が 80～100 %
3＝達成度が 50～ 80 %
2＝達成度が 30～ 50 %
1＝達成度が 30% 未満

(2) 総括評価表の「評価(平均値)」については、「2 分野別評価」の(1)～(5)の評価をそれぞれ平均(小数第1位)したものとする。

(3) 分野別評価の「評価項目」の「その他」については、各学校において必要事項を記入のうえ評価する。

(4) 総括評価の「評価分野-その他」の項目の()には、分野別評価の「(5) その他に関する評価」の中から、特に重要視する事がらを記入する。

(5) 総括評価及び分野別評価の「学校関係者評価の概要」欄は、学校関係者評価委員会(学校運営協議会も可)において評価された結果をまとめたものを記入する。

(6) 「次年度の改善策」の欄は学校評価委員会及び学校関係者評価委員会において協議された改善策をまとめたものを記入する。